

OMIC Food Safety Newsletter No. 524 February 25, 2021

日本の食品安全情報をタイムリーに日本語とタイ語で解説するニュースレターです。

★ 今週のトピックス (日本の厚生労働省からの情報)

1. モニタリング検査の追加(違反による強化または検査命令解除による引下げ: 検査頻度 30%)

(2021年2月上~中旬)

通知	対象食品 (含加工食品)	検査項目	区分	備考、参照 URL
2/3	韓国産青とうがらし	プロピコナゾール ヘキサコナゾール	強化	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000733420.pdf プロピコナゾール基準値 0.01 mg/kg - ppm ヘキサコナゾール基準値 0.01 mg/kg - ppm
2/3	ベトナム産シソクサ	トリシクラゾール ルフェヌロン	強化	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000733420.pdf トリシクラゾール基準値 0.01 mg/kg - ppm ルフェヌロン基準値 0.01 mg/kg - ppm
2/3	ベトナム産 PUK WHAN (アマメシバ)	インドキサカルブ プロフェノホス	強化	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000733420.pdf インドキサカルブ基準値 0.01 mg/kg - ppm プロフェノホス基準値 0.01 mg/kg - ppm
2/15	タイ産 オオバコエンドロ	クロールピリホス	引下げ	https://www.mhlw.go.jp/content/11135200/000739252.pdf 基準値 0.01 mg/kg - ppm

2. タイ産品の輸入違反事例

(2021年2月中旬)

日付	品名	不適格内容	基準	検査の種類
2/15	生鮮ドリアン	プロシミドン 0.02 ppm 検出	0.01 ppm	検査命令

★ RASFF マンスリーレポート

EUにおけるタイ産食品の違反情報

(2021年2月中旬)

日付	届出国	届出理由	通知タイプ
2/12	ドイツ	缶入りココナッツミルクよりビスフェノール A (286 $\mu\text{g}/\text{kg}$ - ppb) 及び環状ジビスフェノール A ジグリシジルエーテル (Cyclo-di-BADGE) (1020 $\mu\text{g}/\text{kg}$ - ppb) 検出 (缶詰めの内面塗装からの移行)	Alert

★ EFSA 無機ヒ素への慢性食事暴露についての評価を公表

欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority) は欧州人の無機ヒ素 (iAs) への慢性暴露量の評価を公表しました。慢性暴露評価には、欧州 23 カ国の計 44 件 (87,945 名) の食事調査データと、iAs に関する合計 13,608 件の分析結果を用いて検討されました。推定平均食事暴露量の最大は、下限値 (LB) では幼児の 0.30 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日で、上限値 (UB) では乳児と幼児両方の 0.61 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日でした。また、95 パーセンタイルでの推定最大暴露量は下限値 (LB) では幼児の 0.58 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日、上限値 (UB) では乳児の 1.20 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日という結果となっています。推定平均食事暴露量 (LB) は、2009 年にフードチェーンの汚染物質に関する EFSA のパネルが設定したベンチマーク用量の信頼下限値 (BMDL01) 0.3~8 $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/日の範囲を全体的に下回っていましたが、95 パーセンタイル食事暴露量 (LB) では、乳児、幼児、その他の子供の推定最大量はこの BMDL01 値の範囲内となっていました。全年齢層にわたって iAs への食事暴露量 (LB) に主に寄与していたのは、コメ、コメ製品、穀物及び穀物製品 (コメ以外)、飲料水となっています。

EFSA Journal 2021;19(1):6380 <https://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/6380>

※次号の OMIC Food Safety Newsletter No. 525 の発行は、2021年3月12日とさせていただきます。